

開田保育園が完成

事業費は約3億7,500万円



6月1日に開園した開田保育園 全景

末川大明の小学校西側に建設していた開田保育園が完成し、5月27日に関係者が集まり式典が行われました。その中で千村勇村長は「東、西の両保育園はそれぞれ建築後30年以上が経過しており、屋根や床の傷みがひどくなっていた。新園舎の完成により3歳未満児保育や一時保育などが可能になった。さらに保育の充実を図っていきたい」と述べました。

園舎は鉄骨一部2階建て、建築面積は約1090平方メートル(敷地面積4713平方メートル)。総事業費は約3億7500万円、国・県から約8269万円の補助金をいただいたほか、***過疎対策事業債**として2億7200万円を充当しています。

保育の充実を図る

昭和46年建築の旧東保育園 (末川)



昭和47年建築の旧西保育園 (西野)



***過疎対策事業債**

一般的には「過疎債」という村の借金。借入額の元利償還金について、7割の交付税措置がある。